

ブレックファーストセミナー 1

FICEによる分光画像内視鏡診断

— 経鼻内視鏡への応用も含めて —

10/15 (木) 第2会場
8:00~8:45 国立京都国際会館 Room A

司会 蒲郡市民病院 消化器科 溝上 裕士 先生
演者 自治医科大学 消化器内科 大澤 博之 先生

新しく進化したFICEを併用した上部消化管スクリーニングから拡大観察まで臨床上的有用性をお話いただきます。また、最新の経鼻内視鏡(EG-530NW)についても触れていただきます。細くてしなやかな経鼻内視鏡の特長を生かし、従来の経口内視鏡では見づかった場所へのアプローチが容易になりました。EG-530NWと進化したFICEの組み合わせによる上部消化管スクリーニングの有用性についてもご講演いただきます。

サテライトシンポジウム 6 ※本セッションはギブン・イメージング社との共催です。

消化器疾患、診断・治療の進歩

— カプセル内視鏡と電子内視鏡の新技术 —

10/15 (木) 第2会場
17:30~19:30 国立京都国際会館 Room A

司会 大阪市立大大学院 消化器内科学 荒川 哲男 先生
名古屋大大学院 消化器内科学 後藤 秀実 先生

演者 「RAPID 5 Accessを用いた低用量アスピリン起因性小腸粘膜障害の観察評価」
横浜市立大附属病院 消化器内科 遠藤 宏樹 先生
「カプセル内視鏡の患者選択・新たな適応疾患」
日本医大 消化器内科 藤森 俊二 先生

最新の読影支援ソフトウェアRAPID 5 Accessによる、小腸粘膜障害の観察評価について新機能ルイススコアの紹介を交えて発表いただきます。

どのような症例に対してカプセル内視鏡が適応となるべきなのか、又、他科にも存在しうる対象疾患としてNSAIDs起因性小腸粘膜傷害についても触れていただきます。

「上部消化管における分光画像内視鏡診断(FICE)の意義」
愛知県がんセンター中央病院 内視鏡部 丹羽 康正 先生
「術後再建腸管を有する胆膵疾患に対する内視鏡的アプローチ」
関西医大 3内科 島谷 昌明 先生

上部消化管疾患に対し進化した分光画像内視鏡診断(FICE)の有用性と意義についてお話いただきます。特に拡大内視鏡とFICEを併用することで境界診断、血管構造パターン評価についてご講演いただきます。

特殊な解剖学的特性や術後癒着により従来のスコープでは到達が困難であった消化管再建術後の胆膵疾患に対してダブルバルーン内視鏡的アプローチの手技の実際とコツを中心にご講演いただきます。

日本消化器関連学会週間 (JDDW2009 KYOTO)

FUJIFILMブースのご案内

2009年 10月14日(水)~17日(土) 国立京都国際会館 イベントホール1F

Touch! FUJIFILM
more than imaginable

最新のトレンドに沿ったFUJIFILMならではの 機器・セミナーを、この機会にぜひご体感ください。

機器展示

経鼻内視鏡

経鼻の常識を変える広角・高画質。

New

経鼻内視鏡のパイオニア
FUJIFILMだからこそ実現できた
最新スコープ「EG-530NW」。
そのすぐれた画質と広い視野
角、そして経鼻に適したしなやか



な挿入性を、実際に触れていただくことでご体感いただけます。さらに、前処置から検査まで、経鼻内視鏡に最適化された豊富な周辺ツールも展示。ファントムを用いたデモや弊社開発担当による技術紹介プレゼンも行います。

ブース内セミナー

ブラックファースト
セミナー

技術紹介プレゼン

内視鏡情報管理システム

あらゆるシステムに。進化する未来に。
すべてにつながる、新「NEXUS」誕生。

FUJIFILMが培ってきた様々な院内
情報の管理ノウハウを取り込み、誕生
した内視鏡情報管理システムNew
「NEXUS」を出展。オープンなシステム
環境で受付から検査、レポート作成、
病理オーダーに至るまで、内視鏡に
関わるあらゆる情報を一元管理する
先進のワークフローをご覧いただけ
ます。また、定期的に弊社開発担当に
よる技術紹介プレゼンも行います。



技術紹介プレゼン

ESD

かつてない使いやすさと安全性を実現。

先端のボール形状により使いやすさ
と安全性がさらに向上したディスポー
ザブル高周波ナイフ「FlushKnife
BT」をご紹介します。ブース内には、
実機に直接触れてシミュレーションして
いただけるコーナーもご用意しており
ますので、ぜひお立ち寄りください。



New

FlushKnife BT FlushKnife

ブース内セミナー

ギブン・イメージング社ブース内「FUJIFILM/GIVEN」専用コーナーにて展示

カプセル内視鏡

小腸領域への新たなアプローチ。

カプセル内視鏡を中心に、ダブル
バルーン内視鏡や内視鏡情報管理
システム「NEXUS」を用いたFUJIFILM
の小腸診療におけるトータルソ
リューションをご提案いたします。



Pillcam[®]
SB

DOUBLE BALLOON
ENDOSCOPY

NEXUS

ブース内セミナー

サテライト
シンポジウム

Touch! FUJIFILM
more than imaginable

FUJIFILMだからこそ実現できた「使いやすさ」、「ラインアップ」、そして「驚き」を、
見るだけでなく実際に触れて体感していただきたい。

JDDW2009、FUJIFILMは「more than imaginable ~Touch! FUJIFILM~」がコンセプトです。

最新機器・技術の展示に加えて、ハンズオンコーナーや多彩なセミナーをご用意して、
皆様のご来場をお待ちしております。



Advancia

FUJIFILMブース内セミナー

各専門領域の第一線で活躍されている先生方をお招きし、最新のトレンドについてご講演いただくセミナーを開催いたします。

原因不明の消化管出血に対する診断、治療のアルゴリズム

10/14
(水)
12:00~12:20

東京大学医学部附属病院
消化器内科
山田 篤生 先生

カプセル、ダブルバルーン内視鏡両検査を用いた原因不明の
消化管出血に対する診断、治療のアルゴリズムについてお話し
いただきます。出血源となる病変の内訳や出血から検査までの
施行時期による診断率の変化などについてご講演いただきます。

大腸ESD戦略

10/15
(木)
12:00~12:20

小樽掖済会病院 消化器内科
勝木 伸一 先生

反転操作によるESDが可能な下部消化管用処置用スコープ
EC-450RD5とフラッシュナイフを用いた大腸ESD戦略に
ついてお話しいただきます。難易度の高い大腸ESD手技の
実際とコツを中心に動画を交えて詳しくご講演いただきます。

小腸疾患の診断から治療、手技のコツ

10/16
(金)
12:00~12:20

自治医科大学 消化器内科
矢野 智則 先生

ダブルバルーン内視鏡を用いた小腸疾患に対する診断と治療
についてお話しいただきます。特に診断・治療における最新
情報、深部小腸への挿入手技のコツ、治療のコツをご講演
いただきます。

進化した経鼻内視鏡の有用性 — 検診領域での活用について —

10/17
(土)
12:00~12:20

静岡赤十字病院 内科・健診部
経鼻内視鏡センター
川田 和昭 先生

140°の広い視野角を持ち、画質が飛躍的に向上したスー
パーイメージ対応の経鼻専用スコープEG-530NWが登場
しました。この進化した「安全で苦痛の少ない経鼻内視鏡」の
検診領域における有用性についてご講演いただきます。